

日本工学院八王子専門学校		開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	プロジェクトワーク 3	
科目基礎情報						
開設学科	マンガ・アニメーション科四年制	コース名	アニメーションコース		開設期	後期
対象年次	3年次	科目区分	必修		時間数	90時間
単位数	3単位	授業形態	実習			
教科書/教材	参考書・参考資料等は授業中に指示する					
担当教員情報						
担当教員	山口 杏奈、平岡 栄一			実務経験の有無・職種	有・アニメーター、映像編集	
学習目的						
前期授業での技術や知識の習得を踏まえ、3年間の修学の集大成として修了制作作品を制作する。各専攻ごとに専門分野の制作物を完成させ、統合・合成したアニメーション映像を卒業制作展や学外イベントで公開・上映を行う。制作の過程を通して各専門分野の技術をより高めることができる他、教員・講師の指導を受けながら制作グループ内やクラスメイト間のコミュニケーションを醸成することから、異なる考えや視点を得ながら共同作業を行うことで社会人基礎力を養うことができる。						
到達目標						
卒業制作を完成させる工程を通して昨年度の制作の反省や改善点を考慮しながら、制作グループ内での役割分担や仕事の配分を制作スケジュールや内容に落とし込み3年間の修学の集大成となる作品作りをすることで自らの技術をより伸ばすことを目標とする。特定の仕事や制作ツール、または課題点をテーマに研究発表ができることも3年次の目標である。 また完成した作品を様々な場所や機会を通して公開・上映し視聴者からの評価を受ける中で自らの制作特性や特徴をつかみ、他社の視点を取り入れ、より感性豊かな表現を学ぶことも目指す。						
教育方法等						
授業概要	卒業制作の実制作において作画・背景・仕上撮影・制作管理を中心とした専門分野別に分かれて各グループもしくは個人別に指導する。提出締め切りを守り3年間の修学の集大成となるクオリティを求める。作画専攻においては締め切りを守るだけではなくタイムシートの記入やレイアウトのカメラワークその他の申し送り事項が正確に記入できることを目標とする。背景専攻はパースや光源の方向を意識して背景作画ができること、デジタル専攻においては素早く正確に共同作業を行ってほしい。					
注意点	制作の打ち合わせ等で声を発する場合は周囲の学生への配慮を忘れないこと。長時間の打ち合わせは教員に申請の上別教室を使用することもできる。 授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。					
評価方法	種別	割合	備 考			
	試験・課題	50%	課題を総合的に評価する			
	小テスト	0%				
	レポート	0%				
	成果発表 （口頭・実技）	30%	授業時間内に行われる中間チェック、内容について評価する			
	平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する			
作画・背景専攻 授業計画（1回～15回）						
回	授業内容		各回の到達目標			
1回	オリエンテーション、ワークフロー		卒業制作をすすめるにあたってレイアウト・原画作業、ワークフローを把握する			
2回	卒業制作 作画打ち合わせについて		作画打ち合わせからコミュニケーション、すり合わせの方法をつかむ			
3回	卒業制作 応用絵コンテ・レイアウト(1)		絵コンテから演出意図、構図をつかみレイアウトにおこす			
4回	卒業制作 応用絵コンテ・レイアウト(2)		絵コンテの修正や、疑問点を解決する方法を学びレイアウト修正作業ができる			
5回	卒業制作 応用レイアウト・原画		レイアウトを制作し演出チェックから不足部分を把握できる			
6回	卒業制作中間チェック(1) 作画スケジュール		スケジュールから現状の進捗を把握し、予定を立て直す			
7回	卒業制作 応用レイアウト・原画・動画(1)		レイアウト制作、原画制作、動画制作からタイムシートの記入方法を復習する			
8回	卒業制作 応用レイアウト・原画・動画(2)		レイアウト制作、原画制作、動画制作から運動とパースの表現方法をつかむ			
9回	卒業制作 応用レイアウト・原画・動画(3)		レイアウト制作、原画制作、動画制作から運動と演技の表現方法をつかむ			
10回	卒業制作 動画チェック作業		動画チェック作業から修正点を見つけ、制作グループのメンバーで共有できる			
11回	卒業制作中間チェック(2) ラッシュチェック		レイアウト・原画・動画の進捗チェックとプレビューから修正点と今後の予定を確認し修正する			
12回	卒業制作 応用レイアウト・原画・動画(4)		レイアウト制作、原画制作、動画制作から質感の表現方法を学ぶ			
13回	卒業制作 応用レイアウト・原画・動画(5)		原画制作、動画制作、動画制作から光と影の表現法を学ぶ			
14回	卒業制作リテイク（原画・動画）		作画箇所の不足部分や修正点を直して仕上撮影部署とも連携作業できる			
15回	完パケ上映、まとめ		完成プレビューを行い講評から今後の課題を見つける			

デジタル専攻 授業計画（1回～15回）		
回	授業内容	各回の到達目標
1回	オリエンテーション、ワークフロー	卒業制作をすすめるにあたってデジタル作業のワークフローを把握する
2回	卒業制作 色彩・撮影打ち合わせについて	色彩・撮影打ち合わせからコミュニケーション、すり合わせの方法をつかむ
3回	卒業制作 カメラテスト	絵コンテから演出意図、構図をつかみカメラテストを行う
4回	卒業制作 エフェクトテスト	絵コンテから演出意図を組みエフェクトテストを行う
5回	卒業制作 レイアウト・撮影指示	レイアウトから撮影指示を把握し演出意図をつかみ不足部分を把握できる
6回	卒業制作中間チェック(1) 作画スケジュール	スケジュールから現状の進捗を把握し、予定を立て直す
7回	卒業制作 応用スキャン・仕上・撮影(1)	スキャン、仕上、撮影から色指定・色彩設計の方法を復習する
8回	卒業制作 応用スキャン・仕上・撮影(2)	スキャン、仕上、撮影からカメラワークの技法を復習する
9回	卒業制作 応用スキャン・仕上・撮影(3)	スキャン、仕上、撮影から撮影処理の技法を復習する
10回	卒業制作 仕上検査チェック作業	仕上検査からセル仕上の修正点を見つけ、制作グループのメンバーで共有できる
11回	卒業制作中間チェック(2) ラッシュチェック	色指定・レイアウト撮・原撮等のプレビューから修正点と今後の予定を確認し修正する
12回	卒業制作 仕上・撮影・編集(4)	スキャン、仕上、撮影、編集作業を行い一本化する
13回	卒業制作 仕上・撮影・編集・音響(5)	スキャン、仕上、撮影、編集作業、音響編集を行い一本化し映像として書き出す
14回	卒業制作リテイク 仕上・撮影・編集・音響	デジタル作業箇所の不足部分や修正点を直して作画背景部署とも連携して作業完了できる
15回	完パケ上映、まとめ	完成プレビューを行い講評から今後の課題を見つける

日本工学院八王子専門学校		開講年度	2019年度（平成31年度）		科目名	プロジェクトワーク 3	
科目基礎情報							
開設学科	マンガ・アニメーション科四年制		コース名	キャラクターデザインコース		開設期	後期
対象年次	3年次		科目区分	必修		時間数	90時間
単位数	3単位		授業形態	実習			
教科書/教材	参考書・参考資料等は、授業中に指示する						
担当教員情報							
担当教員	中村 みどり、熊川 敬亮			実務経験の有無・職種	有・プランナー・デザイナー・イラストレーター		
学習目的							
2年間を通して身に着けた技術の成果を作品にし、展示・発表を行う。 また、仕事における「計画」の重要性を理解し、一つのプロジェクトに対して計画的な制作進行を出来るようになる。そして、自身のアイデアを相手に伝えること、計画通りの制作を進める事の難しさ、大切さを学ぶことがねらいである。							
到達目標							
プロデュース・作画・スケジューリング・制作作業・プレゼンテーションなどの総合力を身に着け、実際のビジネスにおける作品提案に近いプレゼン・展示を目標とする。また、学生がテーマを考案・スケジューリングし、矛盾の無い企画を打ち立て、これまでに学んだイラスト制作スキルを活かしてプロジェクトを完成することを目標とする。							
教育方法等							
授業概要	企画・計画のフェーズと制作作業フェーズの両方を重要なポイントとしている。単にイラストを描くだけでなく、自身の行っている作業がテーマ・計画に合っているかを意識しながら授業を進める。この授業に参加する学生がプロジェクトの進め方を把握し、完成できることを目指す。						
注意点	忘れ物をしない事。課題提出締め切り日は守る事。大切なことは一番最初に話すので、理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。作画は量なので、とにかく多く描けるように努力すること。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	試験・課題	60%	課題を総合的に評価する				
	小テスト	0%					
	レポート	0%					
	成果発表 (口頭・実技)	30%	授業時間内に行われる課題内容について評価する				
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する				
授業計画（1回～15回）							
回	授業内容			各回の到達目標			
1回	卒業制作(企画・予定発表)			前期後半に卒業制作の概要を説明・配布→各自おおまかな企画を作成し、後期初めに発表する。			
2回	卒業制作			制作開始			
3回	卒業制作			卒業制作展用の作品を制作する。			
4回	卒業制作			卒業制作展用の作品を制作する。			
5回	卒業制作			卒業制作展用の作品を制作する。			
6回	卒業制作			卒業制作展用の作品を制作する。			
7回	卒業制作			卒業制作展用の作品を制作する。			
8回	卒業制作			卒業制作展用の作品を制作する。			
9回	卒業制作			デジタル上における作品の完成を目指す(プレゼン可能な完成度)			
10回	卒業制作(プレゼンテーション)			プロジェクトによるプレゼンテーションを行う。			
11回	卒業制作(ブラッシュアップ)			完成させる作業・出力・ボード制作・外部発注			
12回	卒業制作(ブラッシュアップ)			完成させる作業・出力・ボード制作・外部発注			
13回	卒業制作(出力・制作)			出力・ボード制作・納品作品のチェックと展示準備			
14回	卒業制作(展示準備)			完成・納品作品のチェックと展示準備			
15回	卒業制作(展示準備)			完成・納品作品のチェックと展示準備			

授業計画（１６回～３０回）		
回	授業内容	各回の到達目標
１６回	卒業制作_スケジュールリング	実務レベルでの計画立案ができる。
１７回	卒業制作_内容・計画チェック(1)	論理的に説明する力を養う。
１８回	卒業制作_内容・計画チェック(2)	論理的に説明する力を養う。
１９回	卒業制作_作品制作(1)	卒業制作展用の作品を完成する。
２０回	卒業制作_作品制作(2)	卒業制作展用の作品を完成する。
２１回	卒業制作_作品制作(3)	卒業制作展用の作品を完成する。
２２回	卒業制作_進捗・クオリティチェック(1)	実務レベルの制作進行力を養う。
２３回	卒業制作_進捗・クオリティチェック(2)	実務レベルの制作進行力を養う。
２４回	卒業制作_進捗・クオリティチェック(3)	実務レベルの制作進行力を養う。
２５回	卒業制作_進捗・クオリティチェック(4)	実務レベルの制作進行力を養う。
２６回	卒業制作_作品制作(4)	卒業制作展用の作品を完成する。
２７回	卒業制作_作品制作(5)	卒業制作展用の作品を完成する。
２８回	卒業制作_作品制作(6)	卒業制作展用の作品を完成する。
２９回	卒業制作_作品制作(7)	卒業制作展用の作品を完成する。
３０回	卒業制作_作品制作(8)	卒業制作展用の作品を完成する。

日本工学院八王子専門学校		開講年度	2019年度（平成31年度）		科目名	プロジェクトワーク3	
科目基礎情報							
開設学科	マンガ・アニメーション科四年制		コース名	マンガコース		開設期	後期
対象年次	3年次		科目区分	必修		時間数	90時間
単位数	3単位		授業形態	実習			
教科書/教材	授業内容に合わせた見本プリントを配布						
担当教員情報							
担当教員	梁 文秀、目白 花子			実務経験の有無・職種	有・漫画アシスタント/漫画家		
学習目的							
前期の授業で獲得した技術と知識を用いて、さらなる高品質な画面作りと作品制作が可能になるための応用技術を習得する。また、描画力を活用したネーム制作を行い、プロットから起こすオリジナルの作品制作を行う。定められた期限内に特定ページの作品を完成させることができる実力を身につけることを学習目的とする。							
到達目標							
自らマンガ作品を制作するにあたって、本授業で習得した技術や知識を駆使し、タイムマネジメントを行い、完成度の高い画面とコマ割りを構築することを必達到達目標とする。また、1～8Pのショートネームを授業内で制作し、商業的な使用に耐える作品が完成すること、多くの読者を獲得することをさらなる到達目標とする。							
教育方法等							
授業概要	プロの技術を見たり体験する事によって業界レベルのクオリティを意識してもらう。また、ネームを制作することで、自分なりの作品を制作する						
注意点	作画レベルの向上を目指してまずは簡単な事から積み上げて理解出来ない事は個別に質問してもらう。ネームは、完成し次第提出し、リメイクの指示を受けた場合は修正する。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない						
評価方法	種別	割合	備 考				
	試験・課題	50%	漫画原稿形式の課題で評価する				
	小テスト	50%	遅刻・欠席で減点				
	レポート	0%					
	成果発表 （口頭・実技）	0%					
	平常点	50%	遅刻・欠席で減点				
授業計画（1回～15回）							
回	授業内容			各回の到達目標			
1回	画面を構成する(1)			画面内におけるモチーフの構成を考慮しながら、描画する			
2回	画面を構成する(2)			観察力を養う			
3回	画面を構成する(3)			描画力を養う			
4回	画面を構成する(4)			画面の完成度を高める			
5回	質感を高める(1)			モチーフの質感に対する理解を深める			
6回	質感を高める(2)			高レベルの質感の描写の仕方について理解を深める			
7回	質感を高める(3)			立体的な描写について理解を深める			
8回	質感を高める(4)			質感を活かした描画課題を制作する			
9回	作画スタッフとしての技術(1)			プロフェッショナルとしての理解を深める			
10回	作画スタッフとしての技術(2)			ディテールについて理解を深める			
11回	作画スタッフとしての技術(3)			詳細なディテールにより作画力を養う			
12回	作画スタッフとしての技術(4)			プロフェッショナルとして効率的な描画方法について理解を深める			
13回	オリジナル作品制作(1)			出版社に応募可能な作品・画面についての理解を深める			
14回	オリジナル作品制作(2)			自分の考えで作品を構成する			
15回	オリジナル作品制作(3)			講評			